



# 教育学研究科 教授 上間 陽子先生

## Q1.取り組んでいる研究・活動についての紹介

現在、10代でママになった女性たちの調査をしており、沖縄で77名の女性たちに話を聞いた段階です。

たくさんの応援のなか、ママになったことを楽しみ育児不安も少ない女性たちがいる一方で、ほとんど支えもなくひとりで育児をしている女性たちもいます。後者の女性たちに対して沖縄の社会は、行政的な支えがほとんどないというのが特徴のように思います。

こういう調査を通じて、2021年10月には、本村真教授と琉球大学附属病院の銘苺桂子教授の力を借りて、若年のママたちのシェルター「おにわ」をひらきました。私はいま現場責任者をしていますが、10名のスタッフとともに、ママたちの応援をしています。あわせて、性的同意や避妊などについても生活のなかで話し合っていきます。

10月にシェルターをひらいてわかったのは、私たちがママたちの応援をしっかりとすれば、彼女たちもまた子どもを支えていけるとことです。これはキテイなどのいう「ケアするものをケアする社会システム」の創出を意味していると思っており、現場で理論を確認しているような日々です。

## Q2.研究の道に進んだきっかけ

大学生になって階層分化に関する本を読み、とても面白く感じました。私の地元で感じていた感覚が理屈になっている、ということが面白さの理由だったように思います。

また社会調査についても面白みを感じており、面白いなあと思ったことをずるずるやってしまった、というのが正直なところでした。

## Q3.研究者を目指す若者に対して、「これだけはしておいた方がいい」と思うこと

ないです.....面白いものをみつけられるといいですね！

## Q4.学生や研究者志望者におすすめの図書・雑誌

ジャンルも関心も何もかも違うので...難しいです。

